

美術科

担当教員：

使用教材：教科書、資料集、アイデアノートなど

【学習目標】

- ・楽しく美術の活動に取り組むことで、美術を愛好する心を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を養う。
- ・感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力を養う。また形や色彩などによる表現の技能を身につけ、創意工夫し美しく表現する能力を養う。
- ・自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、その良さや美しさなどを味わう鑑賞の能力を養う。

1年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	・名刺のデザイン・色彩の学習 ・野菜・果物の色彩構成 ・鑑賞～美術の歴史				夏休み	・手のスケッチ ・手の塑像（塑像） ・鑑賞～美術の歴史				冬休み	・手の塑像（着彩） ・レタリングの学習 ・鑑賞～美術の歴史	
時間	11					18					16	
学年計 45h												
2年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	・ポスターコンクール作品制作 ・鑑賞～美術の歴史				夏休み	・アートグラス制作 ・鑑賞～美術の歴史				冬休み	・額縁制作 ・鑑賞～美術の歴史	
時間	12					14					9	
学年計 35h												
3年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	・未来画作品制作 ・鑑賞～美術の歴史				夏休み	・卒業アルバム制作 ・鑑賞～美術の歴史				冬休み	・グリーティングカード制作 ・鑑賞～美術の歴史	
時間	11					15					9	
学年計 35h												

7

○授業について

・努力・やる気重視の授業です。作品や試験の結果だけではなく、毎時間どれだけ一生懸命に課題に取り組むことができたか、という毎時間の努力の積み重ねが重要であり、その結果を評価します。

○生徒の皆さんへ

・楽しくなければ美術とは言えません。そのためには、自分を表現するためのちょっとしたコツや技術が必要不可欠です。毎時間少しずつこれらを学習し、一緒に楽しく豊かな時間を味わっていきましょう。

○生徒の授業におけるICTの活用について

・鑑賞の授業で美術の歴史を学習する時や作品制作時の情報収集の手段として活用していきます。

○家庭学習はこのように取り組もう

・作品が授業内に終わらない場合は、提出日までに各自で完成させましょう。
・1年を通して「美術鑑賞レポート」と「模写」作品を受け付けています。レポートは「鑑賞」の成績に、「模写」作品は「技能」の成績に加点します。

○定期考査前はこのように取り組もう

・授業で試験範囲のポイントを説明します。そのポイントを中心に学習しましょう。勉強した人ほど高得点が取れる、努力重視型の試験です。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
評価資料	・毎時間の制作活動観察 ・作品 ・アイデアノート ・定期考査	・毎時間の制作活動観察 ・作品 ・アイデアノート	・毎時間の制作活動観察 ・作品 ・アイデアノート ・定期考査

